

地域協働学校 ふじみ野市立東原小学校

# 学校運営協議会だより

令和3年度 第2号 発行：東原小 学校運営協議会



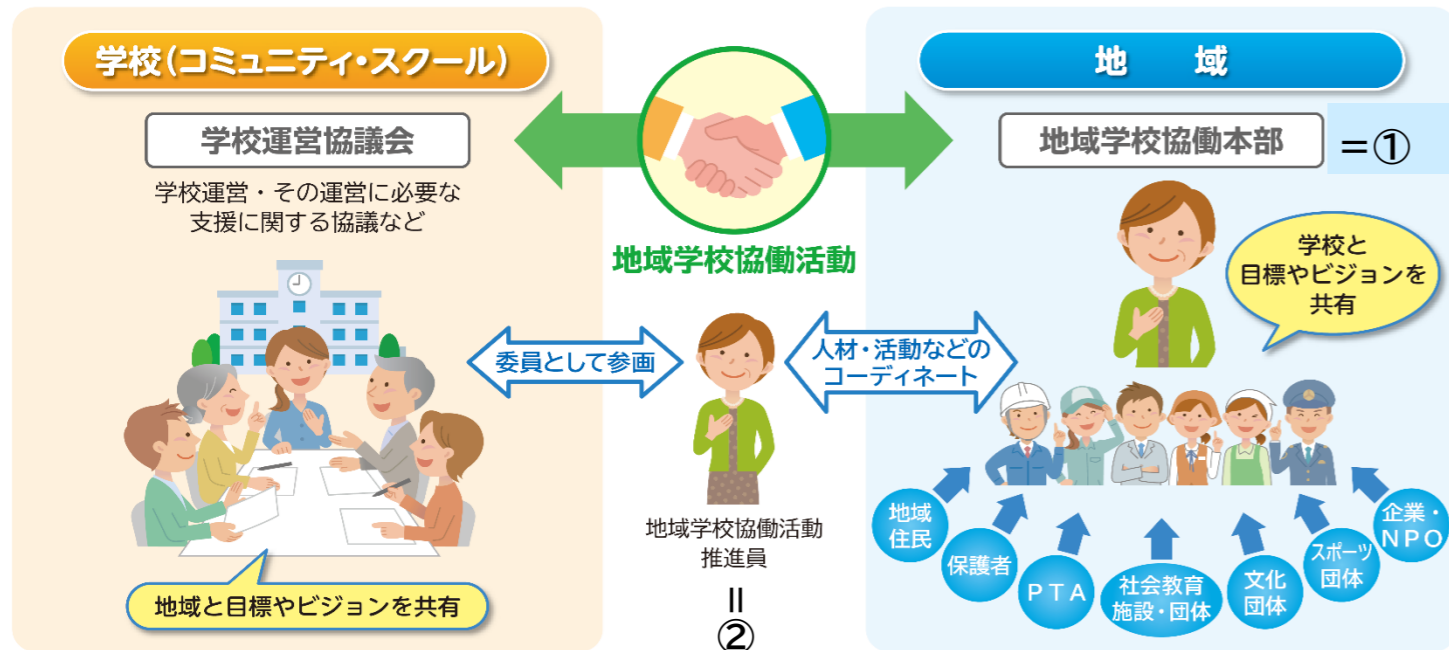
## 第3回学校運営協議会が開催されました

今回は、ふじみ野市教育委員会 社会教育課の職員から「地域学校協働活動と地域コーディネーターの役割について」ということでお話がありました。大まかな内容としましては、「令和4年度から地域学校協働ネットワークおよび地域コーディネーターの取り組みをスタートさせるにあたり、大井中学校区の3校（大井小・東原小・東台小）がモデル校になる」とのことでした。

### 【地域学校協働ネットワーク・地域コーディネーターとは？】

下の図でいうところの、①地域学校協働本部をふじみ野市では「地域学校協働ネットワーク」と呼び、②地域学校協働活動推進員を「地域コーディネーター」と呼ぶそうです。

学校運営協議会と地域学校協働ネットワークを地域コーディネーターがつなぐことで、教育活動と地域のくらしをより豊かなものにしていく…という目的である、と説明がありました。



文科省パンフレット「これからの学校と地域」より

新型コロナウイルス感染症の影響によって、学校行事や地域を巻き込んだ活動が思うように実施できない状況が続いています。そんな中でも、子どもたちにとって魅力ある学校づくり・地域づくりのために、積極的に議論を交わしながら今後も活動していきます。保護者の皆様・地域の皆様には、来年度も継続して取り組みについて発信していきたいと考えております。

【日時・場所】 3月3日(木) 14:25～ 東原小 多目的室

【出席者】 おやじの会代表(学校運営協議会長)、PTA会長、PTA副会長、スクールガードリーダー、園芸ボランティア代表、あじさいプロジェクト担当、大井本町町会長、苗間東町会長、校長、教頭、教務主任、事務主査、教育行政担当者

### 【協議】

#### (1) 学校評価について(校長)

##### ○委員より

評価項目に「子どもの良さが生かされているか」「整理整頓ができてきているか」とあるが、コロナの影響で、保護者からするとそもそも学校での様子が分からず、評価がしづらかったと思う。もう少し学校から情報発信をする必要があるのではないかと考える。

#### (2) あじさいプロジェクトについて(園芸ボランティア代表・プロジェクト担当)

- ・今年度の活動報告と今後の方針に関する説明
- ・学校運営協議会の活動の一つとして、正式に承認いただきたい。
- ・来年度も大井本町園芸部・おやじの会にご協力いただきながら、活動を保護者・地域に広げていきたい。

#### (3) 今後の取り組みについて(学校運営協議会長)

地域協働学校を地域に浸透させるため、核となる事業として以下の3つを提案したい。

##### ①あじさいプロジェクト

##### ②ゴミ0運動

年2回自治会を中心に行われているゴミ0運動に児童が参加し、地域の方と触れ合うことで距離感を縮める。互いに顔見知りになることで、登下校時の声掛けが容易になり、安全・安心な地域づくりにもつながる。

##### ③あいさつ運動

おやじの会が月に一回校門で行っているあいさつ運動を大井中学校区に発展させ、あいさつが響きあう地域を目指す。そういった地域は犯罪が少ないといわれており、防犯に強い地域づくりにも寄与する活動である。

##### ○委員より

##### ①について

- ・学校外周の雑草については、PTAでも話題となっている。どうにかできないか？  
→本当に解決を目指すなら、ツツジ・サツキを全部抜いて防草シートをはるしかない。さらにそこに穴を開けてあじさいを植える方法もある。予算や労力がかかってしまうが、各団体のお力を借りて少しずつ進めてみようと思う。

##### ②について

- ・苗間東町会では昨年11月にパンフレットを作成して児童に配付した。かなり反響があり、20名程の児童が保護者同伴の形で参加してくれた。子どもたちが、小さい頃から地域のイベントに参加することはとても重要なことだと思う。
- ・他地域の児童もパンフレットに興味を示していた。コロナが落ち着けば、各町会で協力し全地域でゴミ0運動を計画することもできるのではないか。